

特別相談「多重債務110番」の実施結果について

東京都と23区26市1町は、東京三弁護士会、東京司法書士会、日本司法支援センター(法テラス)などの法律専門相談窓口等と連携して、平成27年9月7日(月)及び8日(火)の2日間、特別相談「多重債務110番」を実施しましたので、その結果をお知らせします。

主な相談結果

- 特別相談期間中の相談件数は、**全体で206件**
 - ・東京都消費生活総合センター 93件
 - ・区市町の消費生活センター 43件
 - ・弁護士会、司法書士会、法テラス及び協力実施団体 70件

《東京都消費生活総合センターで受け付けた相談の概要》

- 相談者の平均年齢は53.5歳
 - 4社からの借入れが最も多い
 - 一人当たりの平均債務額は1,166万円
 - 借入れ理由でもっとも多いのは「低収入・収入の減少」
- 都内消費生活センターから「東京モデル」(別紙参照)により7件を東京三弁護士会、法テラスなどの法律専門相談窓口につなぎ、フォローアップしました。

実施概要

- 実施日 平成27年9月7日(月)・8日(火)の2日間
 - 実施団体 東京都消費生活総合センター、都内23区26市1町の消費生活センター、東京弁護士会・第一東京弁護士会・第二東京弁護士会、東京司法書士会、日本司法支援センター(法テラス)、(公財)日本クレジットカウンセリング協会、全国クレジット・サラ金被害者連絡協議会、財務省関東財務局東京財務事務所、日本貸金業協会、東京都生活再生相談窓口
- ※「多重債務110番」は、「自殺防止!東京キャンペーン特別相談」(福祉保健局)と連携して実施しました。

★多重債務に関する相談は、引き続き、東京都消費生活総合センター 03-3235-1155 及び区市町村の消費生活相談窓口で受け付けています。一人で悩まずに、早めにご相談ください。

[問合せ先]

東京都消費生活総合センター相談課
電話 03-3235-9294

○主な相談事例

【生活費等の借入れから多重債務となった相談例】

○ 10年ほど前から、親の介護で遠方の実家との行き来が多くなり支出がかさむようになった。さらに、その後、収入が減少したため、銀行等から借金をするようになり、現在では、消費者金融を含めて500万円近い借金がある。現在の手取り収入は月約20万円で、そのうち半額以上を返済に充てている状態となっている。自己破産したほうがよいのだろうか。

(50歳代 男性)

○ 住宅ローンの支払いが困難になったことをきっかけとして、銀行のカードキャッシングや消費者金融からの借入れ等を利用し、多額の借金を抱えてしまった。その後、自宅を売却したが、住宅ローンの支払いは1,000万円以上残っており、銀行等からの借入もあわせて、1,500万円近くの債務額となっている。何とか債務を圧縮したい。

(40歳代 女性)

【ギャンブルがきっかけで、借金を繰り返し多重債務となった相談例】

○ 数年前からギャンブルに夢中になり、借金をするようになった。現在、数社の金融業者から合計で300万円近い借入がある。家族には借金があることは言っていないので、家族に知られずに、任意整理して借金を減らしたいが、どのようにすればよいか。

(20歳代 男性)

【カウンセラーが対応した相談例】

○ 数年前に生活費の不足分を借りたのがきっかけで、借金をし始めた。現在の返済金額は、月20万円近くとなっており、先月から返済が滞っている。夫婦と子供3人の5人暮らしであり、子供たちは成人しているが、支援はしてもらえない。借金だけでなく、家族との関わりでも悩んでいて、何らかの対策を講じたいと思っているが、どうしたらいいかわからない。

(70歳代 男性)

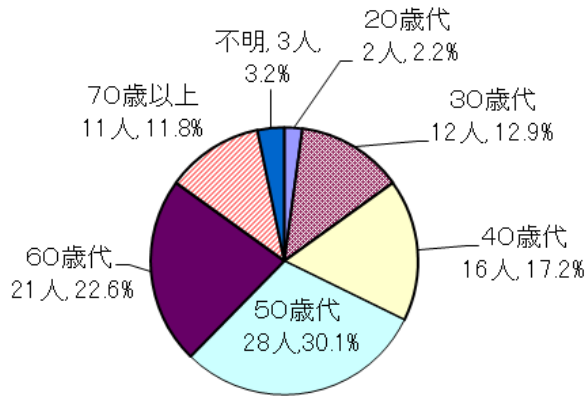
東京都消費生活総合センターで受け付けた相談の概要

<相談内容の分析>

(*パーセンテージの合計は、端数処理の関係で100%にならない場合があります。)

(1) 相談者の年齢構成

- ・平均年齢は53.5歳
- ・最年長は82歳(女性)、最年少は27歳(男性)
- ・一番多い年代は50歳代



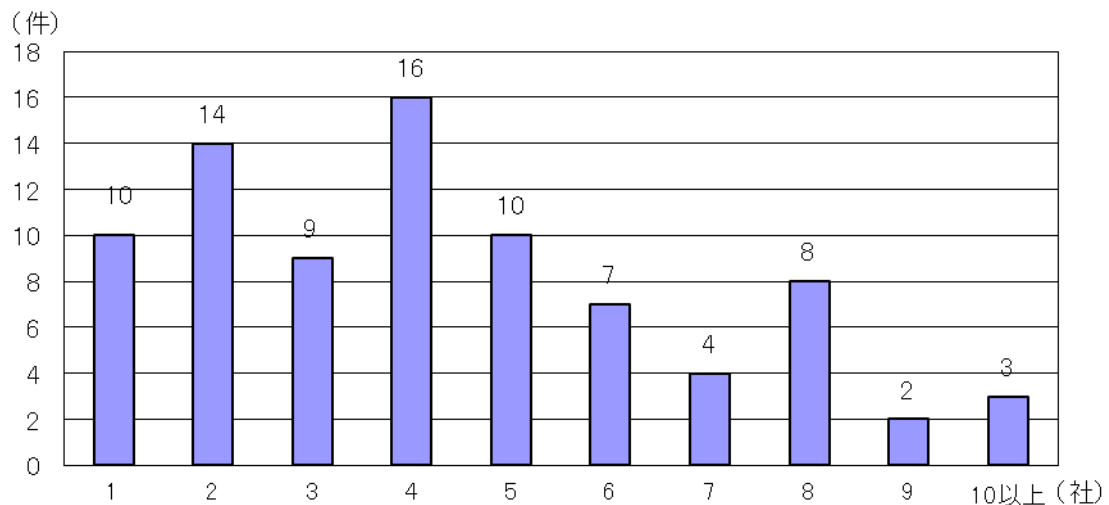
平均年齢の推移

(単位:歳)

実施時期	平均年齢
平成23年9月	51.7
平成24年3月	51.8
平成24年9月	50.1
平成25年3月	49.7
平成25年9月	53.2
平成26年3月	54.3
平成26年9月	53.8
平成27年3月	50.4
平成27年9月	53.5

(2) 借入先数 (※同じ会社から複数の借入れがあるときは1社としてカウント)

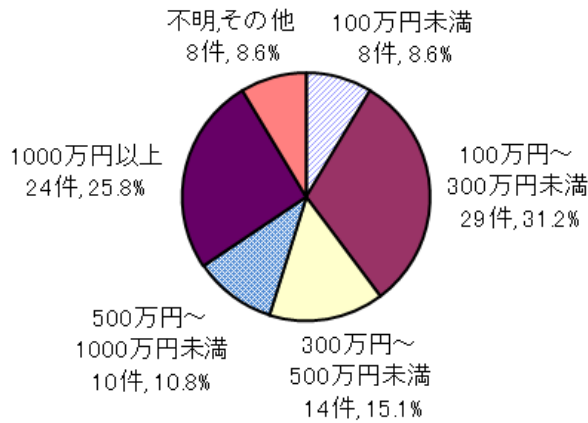
- ・4社から借りている人が最も多い
- ・最多借入先数は14社



(不明等は除く)

(3) 債務の状況

- ・ 一人当たりの平均債務額は1,166万円
- ・ 100万円～300万円未満の債務者の割合が31.2%で一番多い
- ・ 最高債務額は1億6,000万円



平均債務額の推移

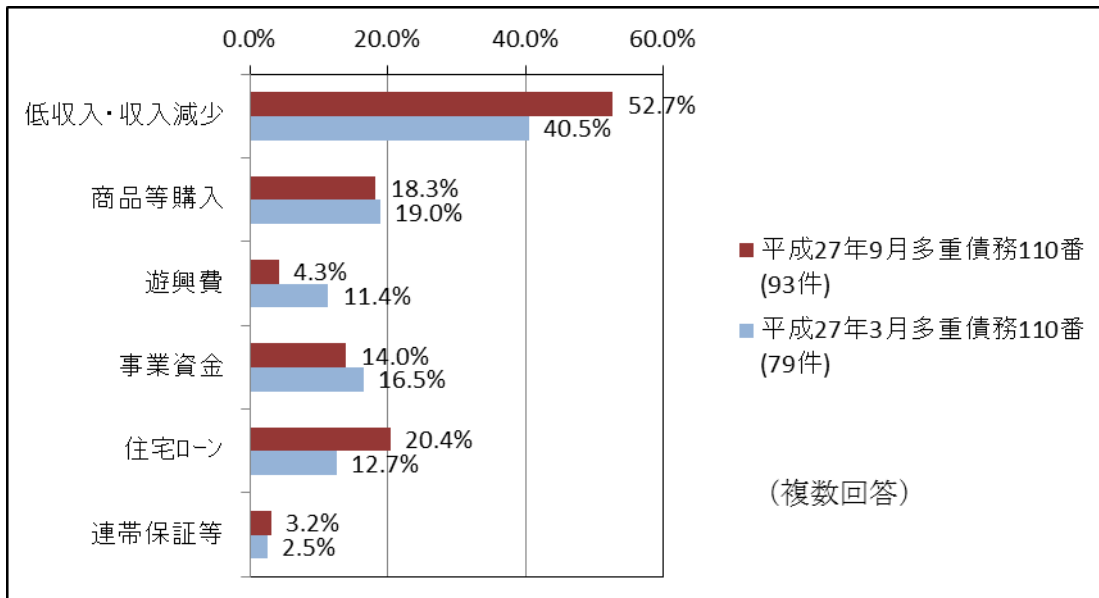
(単位:万円)

実施時期	金額
平成23年9月	800
平成24年3月	690
平成24年9月	645
平成25年3月	481
平成25年9月	873
平成26年3月	1,140
平成26年9月	970
平成27年3月	832
平成27年9月	1,166

(4) 主な借入れ理由

- ・ 借入れ理由で最も多いのは「低収入・収入の減少」。
- ・ 「低収入・収入の減少」「住宅ローン」の理由による借入れの割合が増加した。

【主な借入れ理由別割合】



多重債務相談「東京モデル」のイメージ

